

關西大學專門部學則

昭和十年一月



特典

- 一 專門部本科卒業者ハ考試ノ上學部ニ入學スルコトヲ得
- 二 專門部本科卒業者ハ文官高等試驗令ニ依ル豫備試驗ヲ免除セラル
- 三 專門部本科生ハ兵役法ニ依リ在學中徵集延期ノ特典ヲ有ス
- 四 專門部商業學科本科卒業者ニシテ在學中成績優良ナル者ハ實業學校教員無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有ス
- 五 專門部商業學科本科卒業者ハ計理士タルノ資格ヲ有ス
- 六 專門部文學科英語專攻科本科卒業者ハ師範學校、中學校、高等女學校教員無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有ス

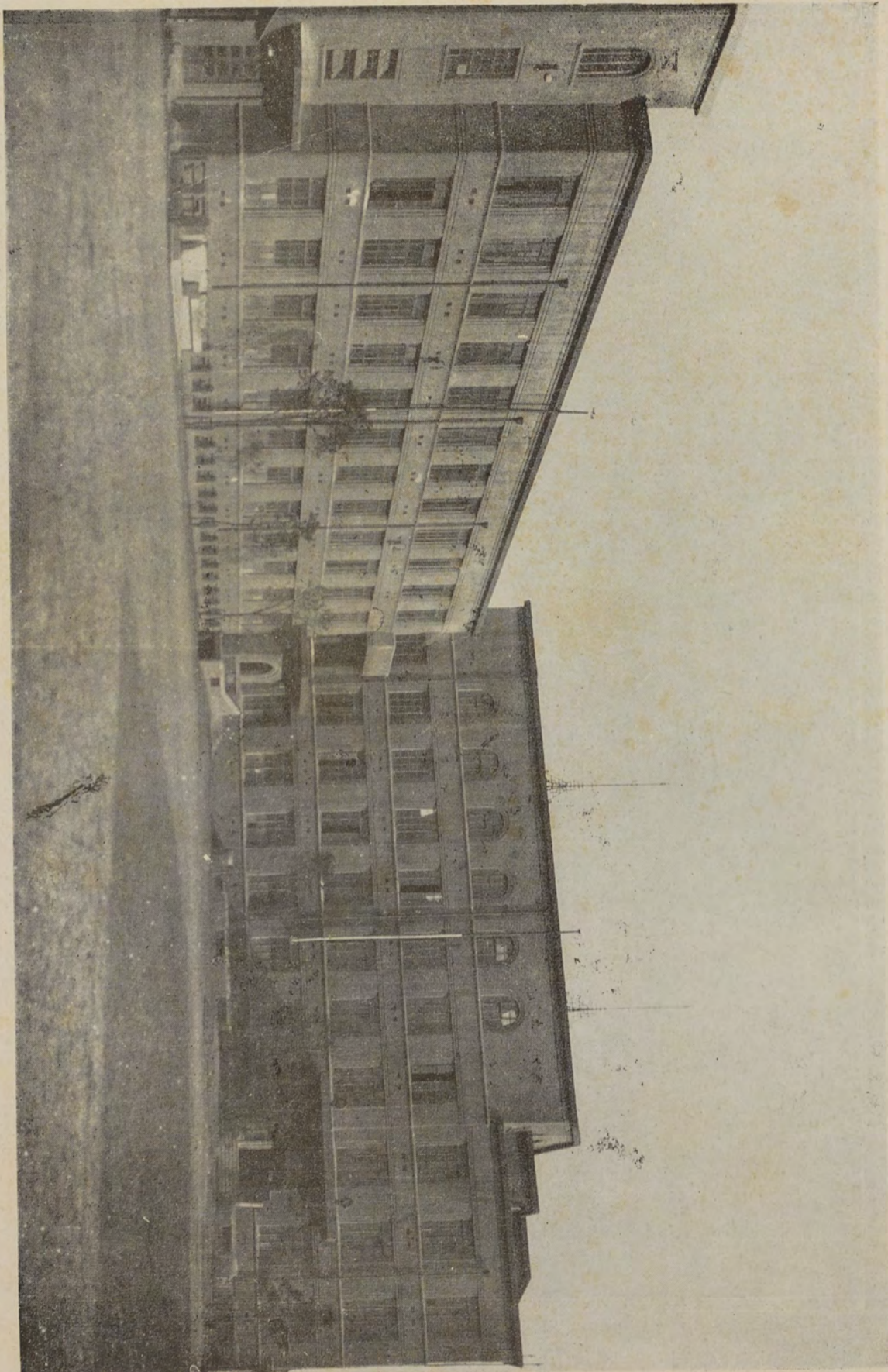
各部始業時間

部別		時間
第一部	商業學科 經濟學科 法律學科	始業 午前八時 乃至九時
第二部	英語專攻科 國語漢文專攻科 商業學科 經濟學科 法律學科	始業午後五時

貴品
379

2000051030

(部門專) 舍學六天學大西關



關西大學山里學舍(大學院・學部・科學院)



關西大學專門部學則

第一章 總則

- 第一條 本學專門部ハ專門學校令ニ依リ高等專門ノ學術ヲ教授シ兼テ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スルモノトス
- 第二條 本學專門部ノ修業年限ハ三年トス
- 第三條 本學專門部ニ法律學科、經濟學科、商業學科及文學科ヲ置ク
但第一部文學科ハ當分之ヲ置カス
- 第四條 本學專門部ノ授業ハ之ヲ二部ニ分チ第一部ヲ晝間授業、第二部ヲ夜間授業トス
- 第五條 本學專門部生徒ヲ分チテ本科生、別科生トス
- 第六條 本學專門部ノ生徒定員ヲ左ノ通り定ム

第一部	法律學科	經濟學科	商業學科	文學科	計
	六〇〇	三〇〇	三〇〇		一、二〇〇
第二部	九〇〇	三〇〇	四五〇	四二〇	二、〇七〇

第二章 學年、學期及休業日

第七條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
 第八條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日乃至八月三十一日
 第二學期 九月一日乃至十二月三十一日
 第三學期 一月一日乃至三月三十一日

第九條 學年中休業日左ノ如シ

日曜日、祝祭日及本大學記念日（六月二十五日及十二月十三日）

春季休業 四月一日乃至同十日

夏季休業 七月二十六日乃至九月十日

冬季休業 十二月二十六日乃至翌年一月十日

第三章 學科課程

第十條 各學科ノ學科目及學科課程左ノ如シ

法律學科

第一學年	第二學年	第三學年
法學通論	行政法總論	行政法各論
憲法	民法總論	民法親族論
民法總則	民法契約論	民法相續論
民法債權總論	民法事務管理以下	民法保險
民法債權一部	民法會社	民法海商
民法債權總論	商法總論	商法手形
刑事訴訟法	商法會社	商法保險
經濟原論	商法總論	商法海商
社會學	刑事訴訟法第二編	破產法
倫理學	刑事訴訟法各論	國際私法
心理學	國際公法	財政學
英語	論理學	哲學概論
	英語	英語
	獨語又ハ佛語	獨語又ハ佛語
合計	合計	合計
二九	三〇	三二
時一數週	時一數週	時一數週

第一部生徒ニハ體操教練一週三時間ヲ課ス

經濟學科

第一學年	經濟原論	一般經濟史	經濟地理	憲法	民法總則	民法債權	商業通論	銀行及金融	社會學	心理學	倫理學	英語	合計	二八
第二學年	特殊經濟史	經濟政策一般	農業政策	民法債權	商法債權	取引所	交通	保險	統計學	政治學	論理學	英語	獨語又佛語	二九
第三學年	商業政策	工業政策	經濟學史	社會政策	財政學	商法海商	商法手形	破產法	外國為替	外國貿易	海外經濟事情	哲學概論	英語	獨語又佛語
合計	四	二	二	二	三	二	二	二	二	二	二	四	二	三〇

第一部生徒ニハ體操教練一週三時間ヲ課ス

商業學科

第一學年	商業通論	銀行及金融	商業數學	商業簿記	商品學	商業地理	民法總則	民法債權	經濟原論	心理學	倫理學	英語	合計	三一
第二學年	取引所	倉庫、稅關	交通	保險	銀行簿記	原簿記	商業歷史	民法債權	商法債權	經濟政策一般	論理學	英語	獨語又佛語	三一
第三學年	海上保險	外國為替	外國貿易	英文簿記	會計學	破產法	商業政策	工業政策	財政學	海外經濟事情	哲學概論	國民道德	英語	獨語又佛語
合計	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	六	二	三一

第一部生徒ニハ體操教練一週三時間ヲ課ス

文 學 科

合 計	法學 通論	國 史	心 理 學	英 語	漢 文	國 語	教 育 概 論	國 民 道 德	科 目	第 一 年	第 二 年	第 三 年
										時 一 數 週	時 一 數 週	時 一 數 週
三	二	二	二	二	一〇	一〇	二	一	倫 理	二	二	二
二	二	二	二	二	一〇	一〇	二	一	教 育 學	二	二	二
二	二	二	二	二	一〇	一〇	二	一	實 踐 倫 理	二	二	二
二	二	二	二	二	一〇	一〇	二	一	科 目	二	二	二
三	二	二	二	二	一〇	一〇	二	一	時 一 數 週	二	二	二

文 學 科

合 計	獨 語 又 佛 語	法 學 通 論	國 史	心 理 學	國 語 及 漢 文	英 語	教 育 概 論	國 民 道 德	科 目	第 一 年	第 二 年	第 三 年
										時 一 數 週	時 一 數 週	時 一 數 週
三	二	二	二	二	三	一八	二	一	倫 理	二	二	二
二	二	二	二	二	三	一八	二	一	教 育 學	二	二	二
二	二	二	二	二	三	一八	二	一	實 踐 倫 理	二	二	二
二	二	二	二	二	三	一八	二	一	科 目	二	二	二
三	二	二	二	二	三	一八	二	一	時 一 數 週	二	二	二

第四章 入學、休學、退學及懲戒

第十一條 本科生トシテ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニシテ考試ノ上之ヲ定

一 中學校卒業者
二 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ中學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定セラレタル者

第十二條 別科生トシテ入學ヲ許可スヘキ者ハ本學專門部ニ於テ中學校卒業程度ニ依リ行フ試験ニ合格シタル者ニシテ詮衡ノ上之ヲ定ム

第十三條 本科第二學年以上ニ編入ヲ許可スヘキ者ハ第十一條ノ資格ヲ有シ且前各學年ノ全科目ノ試験ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

第十四條 本學專門部ト同等ノ學校ニ在學シタル者ニシテ轉學ヲ願出ツルトキハ缺員アル場合ニ限リ相當ノ學級ニ編入ス 但學科課程中他校ニ於テ修了セサルモノアルトキハ其科目ニ就キ試験ヲ行フコトアルヘシ

第十五條 入學ハ毎年四月一日ヨリ三十日間トス但別科生及他ノ同等ノ學校ヨリ轉學スル者ハ此限ニアラス

第十六條 入學志願者ハ入學願書ニ左ノ書類及受験料金五圓ヲ添ヘテ願出ツヘシ既納ノ受験料ハ事

由ノ如何ヲ問ハス之ヲ返附セス

一 履歷書

二 入學資格證明書(卒業成績證明書又ハ試験合格證明書)

別科入學志願者ハ入學資格證明書ヲ要セス

三 戶籍謄本

第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ヲ得タルトキヨリ一週間以内ニ保證人連署ノ誓約書ヲ提出スヘシ保證人ハ大阪市内又ハ其ノ附近ニ一家計ヲ立ツル成年者タルコトヲ要ス

第十八條 退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ヲ以テ退學願書ヲ差出シ許可ヲ受クヘシ

第十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヨリ除名ス

- 一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 正當ノ事由ナクシテ引續キ一ヶ月以上缺席シタル者
- 四 引續キ一ヶ月以上缺席シタル者
- 五 授業料ヲ納入セザル者

第二十條 本學專門部ノ定ムル諸規則命令又ハ訓戒ヲ遵守セザル者ハ謹慎、停學若クハ退學ヲ命ス

第二十一條 疾病其ノ他止ムヲ得サル事由ニ由リ修學スルコト能ハサル者ハ許可ヲ得テ其學年末マテ休學スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ證明スヘキ書類ヲ添ヘ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

休學ノ許可ヲ得タル者ハ休學滿期後其ノ原級ニ入り修學スルモノトス 但休學期間内ト雖モ其ノ事由消滅シタルトキハ許可ヲ得テ復學スルコトヲ得
 休學シタル者ハ當該學年間に於ケル試験ヲ受クルコトヲ得ス
 本人又ハ保證人轉籍、轉居若クハ氏名ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ届出ツヘシ但本人轉籍又ハ氏名ヲ變更シタル場合ハ之ヲ證明スヘキ戸籍抄本ヲ添付スルコトヲ要ス

第五章 進級、卒業

第二十三條 進級試験、卒業試験ハ每學年末之ヲ行フ但各學期末ニ於テ授業科目ノ内數科目若クハ全科目ニツキ試験ヲ行フコトアルヘシ
 第二十四條 進級試験、卒業試験ニ際シ疾病其ノ他正當ノ事由ニ由リ之ニ應スルコト能ハサリシ者ノ爲追試験ヲ行フコトアルヘシ
 第二十五條 追試験ハ第一學期始業後三十日以内ニ之ヲ行フ
 第二十六條 進級試験及卒業試験成績ハ一科目百點ヲ滿點トシ各科目ノ合計點數ヲ平均シ六十點以上ヲ以テ合格トス 但平均六十點以上ノ場合ト雖モ三十點未滿ノ科目アルトキハ不合格トス
 第二十七條 卒業試験ニ合格シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第六章 入學金及授業料

第二十八條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ入學金五圓ヲ納ムヘシ
 第二十九條 授業料ハ在學中出席缺席ニ拘ラス左ノ三期ニ分チ各學期授業開始ノ日ヨリ一週内ニ納付スヘシ

學期別	部別	
	第一部	第二部
第一學期	金參拾貳圓	金貳拾八圓
第二學期	金參拾貳圓	金貳拾八圓
第三學期	金貳拾六圓	金貳拾壹圓
合計	金九拾圓	金七拾七圓

第三十條 追試験ヲ受ケントスルモノハ受験料金五圓ヲ納付スヘシ
 第三十一條 休學シタル者ハ休學期間中授業料ヲ納ムルコトヲ要セス
 第三十二條 既ニ收納シタル入學金及授業料ハ事由ノ如何ヲ問ハス之ヲ返附セス

第七章 聽講生

第三十三條 本學専門部所定學科目ノ全部又ハ一部ヲ聽講セントスル者ハ聽講生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ
 第三十四條 聽講生ハ志望學科ヲ履修シ得ルニ足ル學力アリト認メタル者ニ限り考查ノ上之ヲ定ム
 第三十五條 聽講生ハ聽講シタル學科目ニツキ本科生ト同一ノ試験ヲ受クルコトヲ得

前項ノ試験ニ合格シタル者ハ願ニ依リ修業證書ヲ授與ス
第三十六條 第十六條乃至第二十二條、第二十八條乃至第三十二條及生徒心得ハ之ヲ聽講生ニ準用ス

第八章 生徒心得

第三十七條 本學專門部生徒ハ常ニ左ノ諸項ヲ服膺スヘシ

- 一 國體ヲ重シシ德行ヲ修メ本學專門部生徒タルノ體面ヲ保ツヘシ
- 二 校規ヲ遵守シ言行ヲ慎ミ本學專門部ノ學風ヲ振興スヘシ
- 三 師長ヲ敬ヒ禮儀ヲ尊ヒ友誼ヲ厚クスヘシ
- 四 質素清潔ヲ旨トシ衛生ニ留意スヘシ
- 五 昇校ノ際ハ必ス聽講券ニ本校所定ノ認印ヲ受ケ毎月末生徒課ヘ提出シテ出席日數ノ調査ヲ受クヘシ
- 六 校舎内ニ於テハ制服制帽ヲ着用スヘシ 但止ムヲ得サルトキハ洋服又ハ袴ヲ着用スルコトヲ得
- 七 校舎内ニ於テハ靴又ハ上草履ヲ用フヘシ
- 八 教室ニアリテハ靜肅ヲ旨トシ苟モ粗暴ノ舉動アルヘカラス
- 九 授業中ハ退席スルコトヲ得ス止ムヲ得サル事由ニ由リ退席セントスルトキハ教師ノ許可ヲ受クヘシ
- 十 授業ヲ缺席スルトキハ其ノ事由ヲ明記シ届出ツヘシ

- 十一 演說會、討論會其他ノ會合ヲナシ又ハ團體ヲ組織シ若クハ印刷物ヲ刊行又ハ頒布セントスルトキハ其ノ旨ヲ學生課ニ届出テ學長ノ許可ヲ受クヘシ
- 十二 生徒ハ金錢物品ヲ醜集スヘカラス但正當ノ事由アルトキハ學生課ヘ届出テ學長ノ許可ヲ受クヘシ
- 十三 校舎内ニ於テハ生徒控室以外ノ場所ニ於テ喫煙ヲナスヘカラス
- 十四 建物、器具、樹木等ヲ毀損スヘカラス
- 十五 揭示ハ所定ノ場所以外ニ之ヲナスヘカラス揭示事項ハ豫メ學生課ノ檢閲ヲ受クヘシ

關西大學天六學友會會限 專門部第一階

關西大學天六學友會會則

專門部第一部

一四

- 第一條 本會ハ關西大學天六學友會ト稱ス
- 第二條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ計リ健全ナル精神、身體ノ修養ニ努メ以テ關西大學建學ノ主旨ニ基ケル學風ヲ振興スルヲ以テ其目的トス
- 第三條 本會ハ關西大學ノ監督ヲ受ケ其本部ヲ天六學舍内ニ置ク
- 第四條 本會ハ關西大學專門部第一部ノ生徒及ヒ教職員ヲ以テ組織シ、前者ヲ正會員トシ後者ヲ特別會員トス
- 第五條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達成スル爲メ文藝部並ニ運動部ヲ置キ更ニ左ノ各部ヲ分チテ正會員中ヨリ部員及ヒ選手ヲ定ム
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1 辯論部 | 2 新聞部 | 7 野球部 | 8 庭球部 |
| 3 雜誌部 | 4 語學部 | 9 卓球部 | 10 籠球部 |
| 5 音樂部 | 6 劇研究部 | 11 蹴球部 | 12 陸上競技部 |
| 7 映畫研究部 | 8 俳句會部 | 13 水球部 | 14 馬術部 |
| 9 參政會部 | 10 宗教會部 | 15 相撲部 | 16 山丘部 |
| 11 蒐集部 | | 17 ホッケ部 | 18 排球部 |
| 二、運動部 | | 19 漕艇部 | |
| 1 劍道部 | 2 柔道部 | | |
| 3 弓道部 | 4 射擊部 | | |
| 5 拳法部 | 6 拳闘部 | | |
- 第六條 各部ノ事業ハ一般會員ノ心身ノ修練ニ資スヘキモノヲ行フヘシ
- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- | | |
|------|------------|
| 會長 | 一名 |
| 副會長 | 一名 |
| 會計主任 | 一名 |
| 部長 | 文藝部、運動部各一名 |
| 委員 | 若干名 |
- 第八條 會長ハ關西大學々々長、副會長ハ關西大學專門部主事ヲ推ス
- 會計主任ハ關西大學會計課主任ニ之ヲ囑託ス
- 部長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ任命ス
- 委員ハ委員會細則ノ規定ニ依リ選出シ會長之ヲ任命ス
- 第九條 部長及ヒ委員ノ任期ハ一ケ年トス
- 部長及ヒ委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ前條ノ方法

第十條

ニ依リ之ヲ補充シ其任期ハ前任者ノ殘期トス

役員ノ職務左ノ如シ

會長ハ本會ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長差支アルトキ代理ス

會計主任ハ本會ノ會計事務ヲ司ル

部長ハ各部ノ事業及ヒ會計ノ監督ヲナシ部員及ヒ選手ヲ指導ス

委員ハ部長ヲ輔佐シテ本會ノ基本的事業ヲ遂行シ且各部ノ會計及ヒ事業ヲ監査ス

第十一條

本會協議會ハ第七條ノ役員ヲ以テ組織シ、會長之ヲ召集ス

第十二條

本學生徒ハ入學ノ際本會入會金トシテ金參圓ヲ納入シ、會費ハ毎月金壹圓ノ割合ヲ以テ各學期ノ始ニ納入スルモノトス(但八月ヲ除ク)

第十三條

入會金ノ元利ハ本會基本金トシテ積立テ會費及ヒ其預金利息ハ其年度ノ本會事業費ニ充當ス

第十四條

會計年度ハ一月一日ニ始リ十二月三十一日ニ終ル

第十五條

基本金ノ支出ハ協議會ニ於テ部長及ヒ委員總數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ決議シ且會長ノ許可ヲ

第十六條

受クル事ヲ要ス

物品購入其他ニ關シ金錢ノ支出ヲナスニハ委員會細則ノ定ムル所ニ從フ

第十七條

各部ハ物品購入簿及ヒ金錢出納簿ヲ作成シ毎月一回委員會ノ監査ヲ受クヘシ

第十八條

各部ノ會計報告ハ毎月一回適當ノ方法ニ依リ之ヲ公表スヘシ

第十九條

會計主任ハ會計原簿及ヒ領收書ヲ三ケ年保管スルモノトス

第二十條

年度末ノ剩餘金ハ次年度ニ繰越ス

第二十一條

本會機關ノ運用並ニ其權限ニ關スル事項ハ委員會細則ノ定ムル所ニ從フ

第二十二條

但各部ト委員會トノ權限ノ争ヒハ本會協議會ニ於テ之ヲ決ス

第二十三條

會則ノ變更ハ協議會ニ於テ部長及ヒ委員總數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ要シ會長ノ認可ヲ得テ之ヲ施行スルモノトス

附則

本會則ハ昭和五年五月十六日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條

昭和七年十二月十六日ノ委員會ニ於テ本會則變更ノ件決議サレ前記ノ如ク第六條及ヒ第二十一條ノ二ケ條ヲ追加シ第十一條、

關西大學學友會會則 專門部第二部

第一章 目的

第一條 本會ハ本學建設ノ趣旨ニ從ヒ會員相互ノ親睦品性ノ陶冶智識ノ修得体力ノ養成ニ努ムルヲ以テ目的トス

第二章 名稱及事務所

第二條 本會ハ關西大學々友會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ關西大學專門部内ニ置ク

第三章 組織

第四條 本會ハ關西大學專門部第二部生徒ヲ以テ組織ス

第五條 本會ハ關西大學監督ノ下ニ學生ノ自治トシ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
- 副會長 一名
- 會計主任 一名
- 幹事長 一名
- 幹事 若干名

但シ第一學年幹事選舉終了迄ハ十八名、爾後二十名ヲ下ルコトヲ得ス

第六條 會長ニハ關西大學々長、副會長ニハ關西大學專門部主事會計主任ハ關西大學會計主任ヲ推ス、幹事ハ各科各學年毎ニ會員中ヨリ之ヲ選舉ス

專門部第二部

幹事長ハ幹事之ヲ互選ス

幹事員ヲ生シタルトキハ幹事長ハ七日内ニ此ノ旨會長ニ報告スヘシ

會長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ十四日内ニ當該補缺選舉ヲ行フヘシ

第七條 幹事ノ選舉ハ次ノ二期ニ分ツテ之ヲ行フ各科ニ、三學年ハ前年度十二月中各科一學年ハ五月中之ヲ行フ

第八條 幹事ノ任期ハ一ケ年トス

各科一學年選出幹事及補缺幹事ノ任期ハ就任ノ日ヨリ次期改選迄トス

第九條 役員ノ職務左ノ如シ

會長ハ本會ヲ總理ス

副會長ハ本會ニ於テ第一條ノ目的ニ反シタルトキハ任意解散ヲ命スルコトヲ得

會計主任ハ金錢ノ出納及保管ヲ爲ス

幹事長ハ幹事ヲ指揮シ幹事會ヲ召集シ同會ヲ代表ス

幹事ハ會務ヲ處理ス

第十條 幹事長缺ケタルトキハ其ノ確定セシトキヨリ七日内ニ幹事中最長學年最長者此旨會長ニ報告スル義務ヲ有ス

會長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ七日内ニ幹事會ヲ召集シ幹事長ノ互選ヲ爲サシムヘシ

第十一條 幹事會ハ在職幹事半數以上ノ出席ニ依リ成立ス

幹事會ニ於ケル議案ハ出席幹事過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ幹事長之ヲ決ス

會長、副會長、監督者、會計主任、ハ幹事會ニ於テ意見ヲ述フルコトヲ得

其ノ他幹事會ニ關スル事項ハ幹事會細則ノ規定ニ依ル

第五章 事業

第十二條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達センガ爲メ事業ヲ左ノ部ニ分ツ

一、共濟部

一、文藝部

一、辯論部

一、運動部(柔道、劍道、陸上、水上、馬術、庭球、角力、卓球、山丘部)

幹事會ノ決議及會長ノ許可ヲ經テ一定期間一種又ハ數種ノ事業ヲ休止スルコトヲ得

第十三條 各部役員左ノ如シ

部長 一名 幹事會ニ於テ幹事中ヨリ之ヲ選任ス但幹事長並ニ部長ハ之ヲ兼任スルヲ得ス

副部長 一名 委員會ノ推薦ニ依リ幹事會ニ於テ幹事中ヨリ之ヲ任命ス

委員 委員會細則ニ依ル

各部役員職務左ノ如シ

部長ハ當該部ヲ統帥シ之ヲ代表ス

副部長ハ部長ヲ輔佐シ部長差支アルトキ之ヲ代理ス

委員ハ部長ノ指揮ニヨリ部務ヲ處理ス

本會ニ於テ舉行スル事業ハ豫メ幹事長ヲ經テ會長ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

會長ハ事業ノ延期又ハ廢止ヲ命スルコトヲ得

第六章 會費及會計

第十六條 本會ノ會計年度ハ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日迄トス

第十七條 會員ノ負擔次ノ如シ

一金貳圓也

入會金ハ入會ノ際納付スヘシ

一金五圓五拾錢 會費(年額)

會費ハ左ノ割合ヲ以テ每學期初メニ授業料ト共ニ納付スヘシ

第一學期 金貳圓也

第二學期 金貳圓也

第三學期 金壹圓五拾錢也

第十八條 入會金及ヒ其預金利息ハ其年度ノ事業費ニ充當ス
本會ノ收支豫算案ハ幹事會ニ於テ編成シ會長ノ認
可ヲ受ケルコトヲ要ス

第十九條 豫算案ハ各部ノ協定ヲ經テ幹事長之ヲ提案ス
運動部各部ノ豫算細目ハ運動部長ノ提案ニヨリ幹
事會之ヲ決ス

第二十條 年度末ノ剩餘金ハ次年度ニ繰越ス
支拂ヲ要スルトキハ當該部長ハ傳票ニ支出理由書
ヲ添ヘ幹事長ヲ經テ會計主任ヘ提出スルコトヲ要
ス

第二十一條 會計主任カ前項ノ傳票ヲ受ケタルトキハ會長ノ認
可ヲ受ケ支拂ヲ受ケヘキ者ニ直接支拂フヘシ
直接支拂ヲ爲シ得サル場合ニ於テハ當該部長及幹
事長ノ連帶責任ヲ以テ假支出ヲ爲シタル上支拂ヲ
爲スコトヲ得コノ場合ニ於テハ支拂後遲滞ナク清
算書ヲ作成シ領收書ヲ添ヘ會計主任ニ清算ヲ爲ス
ヘシ

第二十二條 會計主任カ自己管掌事務ノ爲金錢ノ支出ヲ要スル
トキハ自ら傳票ニ調印シ幹事長及會長ノ認印ヲ受
ケル事ヲ要ス

第二十三條 金錢ノ支拂ヲ爲シタル場合ハ必ス支拂先ヨリ領收
書ヲ徴スヘシ 但シ性質上領收書ヲ徴スル能ハサ

ルモノハ支拂人ニ於テ事由ヲ記シ署名捺印シタル
書面ヲ作り幹事長ノ證印ヲ得タルモノヲ以テ領收
書ニ代フルコトヲ得

第二十四條 會計主任ハ每會計年度末ニ於テ收支決算書ヲ作成
シ幹事會ノ審査ヲ經テ會長及會員ニ報告スヘシ
基本金ノ支出ハ幹事會ニ於テ在職幹事ノ十分ノ七
以上ノ同意ヲ以テ議決シ本大學校友會常議員會ノ
同意ヲ得且會長ノ認可ヲ受ケルコトヲ要ス

第二十五條 第七章 補 則

第二十六條 幹事會細則及各部委員會細則ハ幹事會ニ於テ之ヲ
定メ會長ノ認可ヲ得
各部細則ハ各部委員會ニ於テ之ヲ定メ幹事會ノ承
認ヲ經テ會長ノ認可ヲ受ケ各々之ヲ施行ス之カ變
更改廢モ亦同シ

第二十七條 本會則ノ變更又ハ改廢ハ在職幹事ノ三分ノ二以上
出席シ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ議決シ會
長ノ認可ヲ經テ施行ス

第二十八條 其他之ニ規定ナキ事項ハ慣習ニ從フ
附 則
本會則ハ認可ノ日ヨリ施行ス
(昭和五年十二月四日認可)

關西大學

大阪市東淀川區長柄中通二丁目
天六學舍(專門部) 電話堀川 〇三九〇番

振替口座大阪一二八七五番
千里山學舍(大學院) 電話大阪外千里山 一二三番